

時制(過去形・過去分詞形の変化のルール)

過去形と過去分詞形

英語の動詞は、「今していること」や「これからすること」を表すときは動詞の原形(げんけい)を使います。「もうしたこと」や「すでに起きたこと」を表すときは過去形や過去分詞形に変える必要があります。

規則動詞

規則動詞とは、語尾に「-ed」をつけたり、いくつかのルールにしたがって変化をします。

基本のルール

(1) 動詞の原形に「-ed」をつけるだけで、過去形や過去分詞形になります。

例)

- ・ play(遊ぶ) → played
- ・ talk(話す) → talked
- ・ finish(終わる) → finished

このように、「-ed」をつけるだけで OK です。

その他のルール

(2) 語尾が「e」で終わる動詞

「e」で終わる動詞は、「-d」をつけます。

例)

- ・ like(好き) → liked

(3) 語尾が「子音字+短母音字+子音字」の形で終わる動詞

語尾の子音字もう一つ足してから「-ed」をつけます。

例)

- ・ stop(止める) → stopped
- ・ plan(計画する) → planned

※ 「短母音字」…短母音字とは「a:ア、i:イ、u:ウ、e:エ、o:オ」。長母音は「a:エイ、i:アイ、u:ユー、e:イー、o:オウ」

例) 「短母音字」hop(はねる)ホップで o は“オ”。

「長母音字」hope(希望する)ホープで o は“オウ”。

(4) y で終わる動詞

「y」の前に子音字がある場合、「y」を「i」に変えて「-ed」をつけます。

例)

- ・ study(勉強する) → studied

不規則動詞

ルールはなく不規則に変化する動詞を不規則動詞といいます。

例)

- ・ go(行く) → went — gone
- ・ eat(食べる) → ate — eaten